

# 土砂の入った家の床下泥出しの前に 必ず養生をしましょう!

## 【床下のドロ出し作業に入る前のお願い】

水害現場復旧作業に入るにあたり、最初に行う作業は現場の養生です。  
今以上に現場を汚さぬこと。**自分の家(部屋)だと思って作業に当たりますよ。**  
復旧作業が完了すれば、家主さんはそこで今まで通りの生活を送る場になります。  
この為に行うのが養生作業です。

## 【必要になる資材】

- ・養生テープ
- ・ハサミ
- ・ビニールマスカー
- ・カッター
- ・ブルーシート
- ・メジャー
- ・土嚢袋
- ・ハケ



ビニールマスカー

養生テープ

## 【養生のポイント】

※養生テープを貼る前に、綺麗に掃除してから貼りましょう!  
汚れた敷居や柱は、テープが剥がれてしまいます。

### ① 床(ブルーシート)

作業中、床の上はどうしても土足で上がることになります。  
予め養生することで、最後の清掃作業も楽になります。



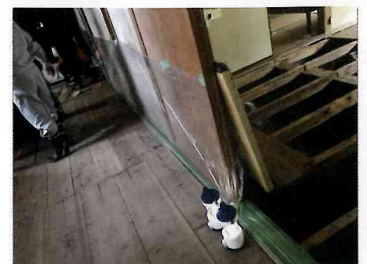
### ② 壁・襖・障子(ビニールマスカー)

床下のドロを搬送する際などに飛び散る事があります。  
材質によってはシミが取れない為、予め養生することで予防になります。



### ③ 根太・台所(養生テープ・ビニールマスカー)

床下のドロを搬送する作業中はどうしても根太を足掛かりにすることになります。  
床下の材料と言えども、ドロが付着すればカビの温床となる為、予め養生しましょう。  
台所も公衆衛生上、食中毒や感染症にかかる恐れがありますので、きちんと養生テープで守りましょう。



特に敷居は重要!!

### ④ 敷居(養生テープ・ブルーシート)

襖や障子の敷居は傷がつきやすくなります。また、その傷にドロが入るとなかなか取れません。  
予め養生して保護しておきましょう。



### ⑤ 撤収作業も丁寧に...

最後に、これらの養生材を剥がす際は下地の素材を傷めぬよう丁寧に撤去するように心がけましょう。  
せっかく汚れを防いでも、最後の最後で傷めてしまっは残念です。

## □床下に泥や水がたまっていないか確認する

住宅が一度でも浸水したら、床を上げて床下に水や泥が入り込んでいないか確認することが大切です。  
ただし、ハウスメーカーや建築方法によっては専門的な技術が必要になります。

水や泥がたまっている場合は、掃除をしないと後になってカビや悪臭が発生し、生活に支障が出ます。

## 和室（畳敷きの部屋）

- 畳を上げ、畳の下の床板をバールなどで1枚はがす。(写真①)
- 床板をはがす前に油性ペンで並び順の番号を書いておく和良好的。(写真②)
- 床下に水や汚泥がたまっていないかどうか確認する。(写真③)
- 確認が終わったら、床板は元に戻すことができる。
- 特に無垢の床板は再利用できるのでいいねいにはがす。



和室の床板をはがす (写真①)



床板に並び順を記入 (写真②)



床下にたまった泥 (写真③)

## □床下を掃除し、泥を除去する

床下に水が入った場合、水を抜いてから泥を取り除きます。  
掃除したあとは、床下に消毒剤をまきます。  
時間が経つほど、水分が湿気となりカビや異臭の原因になります。  
できるだけ早く作業に着手するようにしましょう。



床下の泥だしの様子



床下に入るときは安全確保のため、  
換気をし、2人以上で作業をします



制作 NPO災害ボランティア 愛知人  
Daiju.tech

協力 日田市災害ボランティアセンター  
被災地NGO協働センター  
レスキューアシスト

写真提供 NPO災害ボランティア 愛知人  
震災がきっかけで全国ネットワーク  
NPO法人愛知ボランティアセンター